

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL



平面アンテナ

DIGICATCH Flat

地上デジタル放送 (ch.13～52) 用

水平／垂直偏波対応 出力75Ω (F形座) 仕様

UAH500 / UAH500S

(オフホワイト) (スーパーブラック)

強電界
地域用

※強電界地域とは…

電波塔から距離が近く、電界強度
が80dBμV/m以上の地域のこ
とです。電波塔が見えていること
が目安です。



■取付けに必要なもの(お客様に準備していただくもの)

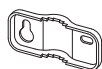
- 同軸ケーブル(75Ω) • 壁面取付の場合:壁面の強度に合った木ネジやコンクリートアンカー • ⊕ ドライバー
- ケーブル加工用のカッター、ペンチ • 落下防止用のヒモ • はしごや脚立など(高所の作業の場合) • メジャー

■付属品(ご使用の前に、セット内容をご確認ください。)

付属品



水準器
1個



マスト押え金具
1個



六角組ボルト(小)
(M6×60mm)2本



スパナ 1本



防水キャップ
1個



F形接栓 (5Cケーブル用)
1個

同軸ケーブルは付属していません。取付場所に応じて必要な長さの5C相当ケーブルをご購入ください。

保証書は取扱説明書の最後のページに記載しています。

安全上のご注意

重要
映るか試してみよう!

アンテナを取り付ける

ケーブルを接続する

アンテナの方向を調整する

うまく映らないときは

安全上のご注意

■安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		機器の分解禁止		接触禁止
	一般的な禁止事項		指示を守る		



警告

この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



工事には技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店もしくは工事店に
ご相談ください。



設置やお手入れ、点検をする際には、次のことにご注意ください。



- ◇高所などでは、足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策を行ってください。
落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。
- ◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)に指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、固定してください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険ですから設置工事やお手入れ、点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。
感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは弊社カスタマーセンターにご相談ください。



警告



次の場所に設置しない



<アンテナ>

- ◇送配電線、ネオンサイン、電車の架線や電話線などの近く
アンテナが倒れた場合、感電、断線の原因となります。
- ◇人や車両の通行の妨げになる場所
人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。
- ◇地盤の弱い場所、強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- ◇煙突の付近や高温になる場所
火災の原因となります。



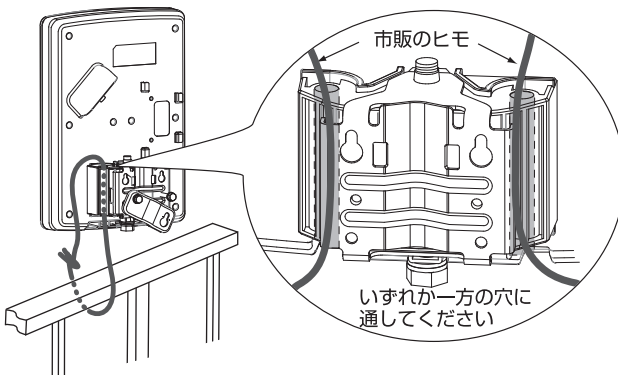
警告

落下防止の対策をして作業する



警告

必ず落下防止用のヒモ(市販品)を使用して、壁面取付金具、アンテナ本体、付属のレンチをベランダ等の固定物に結んでください。



雷注意



雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

ケーブルに無理な力を加えたり傷つけない



接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。電源コードや同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。

火災や感電の原因となります。電源コード、同軸ケーブルなどが傷んだときは(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

台風や積雪のあとには点検を



注意

台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや、壁面に異常が生じることがあります。

そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご相談ください。

アンテナに物をのせない



注意

アンテナや取付金具などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。

また、上に乗らないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

共同住宅での注意点



注意

マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。

管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

壁面強度は工務店に相談を



注意

壁面に取り付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に必ず相談し、落下しないように安全性と安定性を十分に考慮してください。

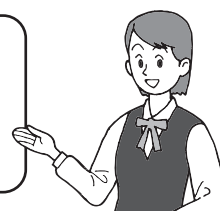
■使用上のご注意

- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信環境が悪い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないかまたは時々ブロックノイズがでるなど不安定な受信状態になることがあります。
- アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジやボルト類はスパナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- この製品に電源(DC15Vなど)は供給しないでください。故障の原因となります。
- アンテナを塗装したり、シール等を貼らないでください。樹脂が劣化したり、受信不良の原因となります。
- エアコンの室外機の近くに設置すると受信不良の原因となりますので、室外機から1m以上離してください。
- スタンドは付属していません。

重要 映るか試してみよう

お客様が取り付けたい場所の付近で、実際に映るかチェックします。

取り付けが最後まで終わってから、
「映らない!」「壁に穴が開いてしまった!!」というような
ことがないように、ここで必ずチェックしてください。



1 受信偏波を確認してください。＜重要＞

電波塔から送信される電波には、水平偏波と垂直偏波があり、地域により異なります。
アンテナは、偏波に合った向きに取り付けしないと受信できません。

確認方法

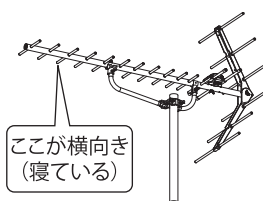
ご近所の屋根に付いているアンテナにより確認する。

(右図の魚の骨のような形のアンテナを見ると、偏波の種類がわかります。)

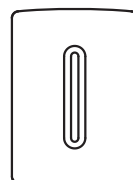
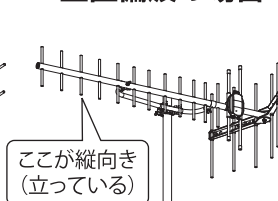
ご近所を見てもわからない場合は、販売店
または弊社カスタマーセンターにおたずねください。

ご近所のアンテナが参考になります

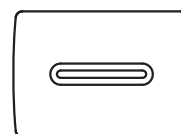
水平偏波の場合



垂直偏波の場合



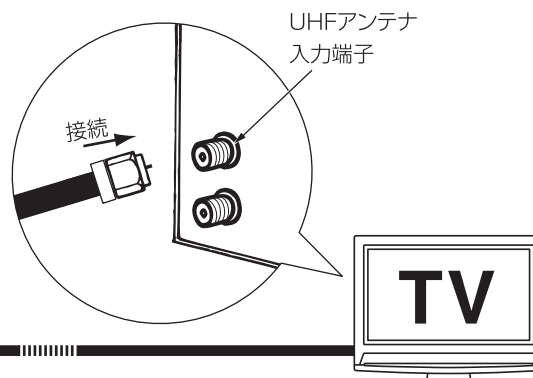
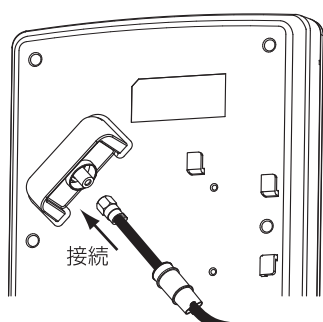
縦に向けて使います



横に向けて使います
「垂直偏波を受信する場合」
(7ページ参照)

2 ケーブルをつないでください。⇒8ページ参照

地上デジタルチューナーまたはテレビとアンテナを
別売の同軸ケーブルでつないでください。

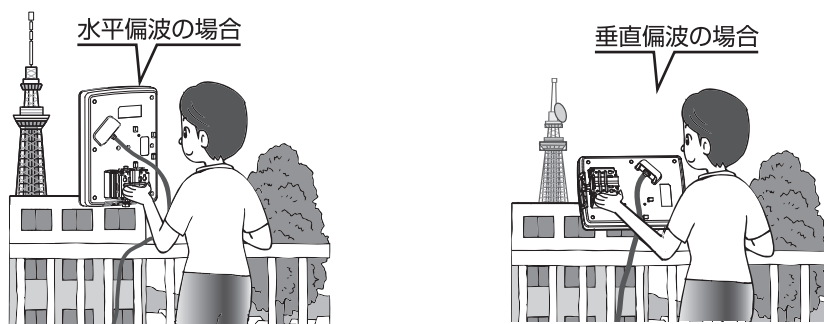


地上デジタルチューナー
またはテレビ

点検してください

- ・地上デジタルチューナーまたはテレビの「B-CASカード」は正しくセットされていますか?
- ・同軸ケーブルは、奥までしっかり接続されていますか?

3 電波塔の方向に、アンテナの正面を向けてください。



4 テレビのチャンネルを「地上デジタル放送」にします。

地上デジタルチューナーまたはテレビの「チャンネル設定」を行なってください。機器により操作方法が異なりますので、詳しくは地上デジタルチューナーまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

5 テレビのご希望のチャンネルが映るか確認してください。

はじめにNHK(総合、またはEテレ)で確認することをおすすめします。

テレビ画面が黒いまま映像が映らない場合は、アンテナの正面をゆっくり左右に振ってみてください。

また、アンテナの高さを0.5～1m変えると映ることがあります。高さを変えてみてください。

映ったときのアンテナのおよその向きを覚えておいてください。(10ページのアンテナの方向調整が、スムーズにできます)

スピード 診断

正常に映る

次のページに進んで、
実際に取り付けてくだ
さい。

正常に映らない！

黒い画面のまま映らない。
または特定のチャンネルが
映らない。

映るが、ノイズがでる。



<ブロックノイズのテレビ画面>

診断

アンテナの取付場所に適していません。
別の場所でこのページの③～⑤を確認してください。

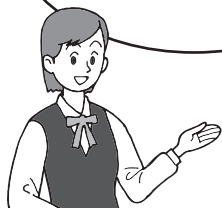
1階で受信できない場合は2階で試してください。また、屋根の上にアンテナを取り付ける
ことも検討してください。それでも映らない場合は、受信環境(地形やビルなどの反射や混
信)による原因の可能性があります。

映らない

取り付けを中止し、弊社カスタマーセンターに
ご相談ください。

0120-941-542

ここで映らない場合は、
対策をしないと映るようには
なりません。
無理はせず、弊社カスタマー
センターにご相談を！



step

1

アンテナを取り付ける

取り付けには、付属のスパナや
⊕ドライバーが必要です。

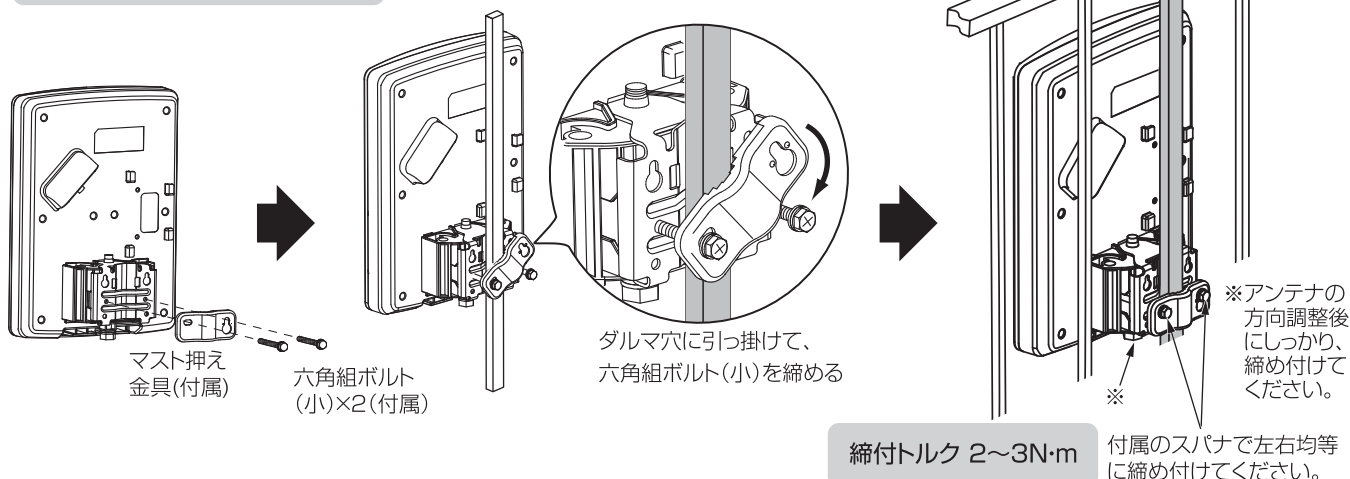
ベランダ(格子)に取り付ける場合

付属のマスト押え金具を使用してください。

適合角柱

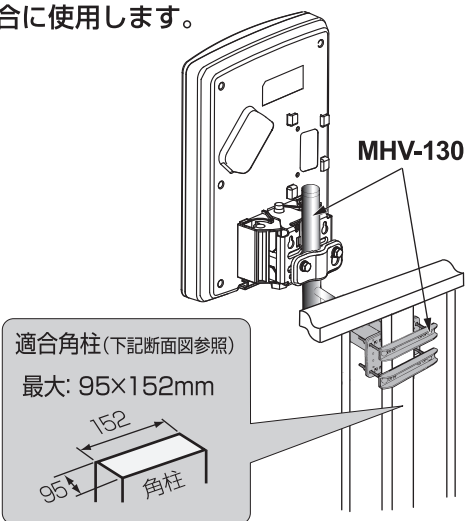
角 柱:30×30~45×45mm

取り付ける前に十分強度を確認し、アンテナは
太い角柱部分に取り付けてください。



ベランダ用取付金具(別売)を使用した取付例(MHV-130使用)

45×45mmを超える角柱に取り付ける
場合に使用します。

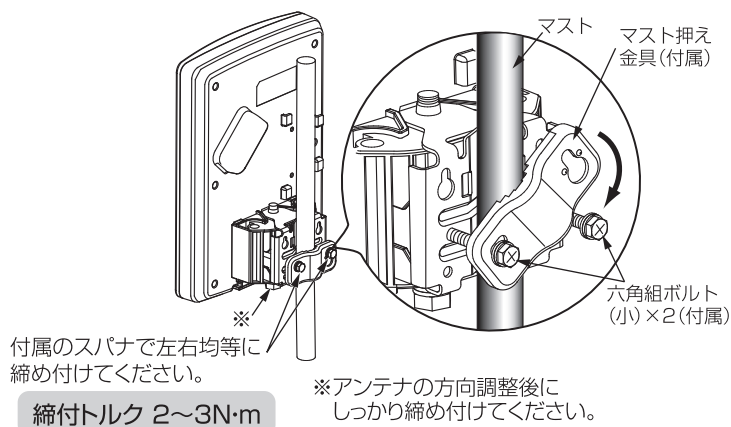


マスト/角柱に取り付ける場合

付属のマスト押え金具を使用してください。

適合マスト/角柱

- マスト:直径22~49mm
- 角 柱:30×30~45×45mm



注意

マスト押え金具を取り付けると、マストにキズがつきますので、ご理解の上取り付けてください。

直径49mmを超えるマストに取り付ける場合

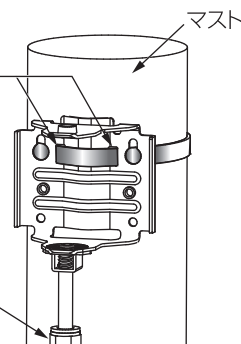
市販のステンレスバンドを使用してください。

ステンレスバンド
通し穴(2か所)

適合ステンレス
バンド幅10mm

締付トルク
0.6~0.8N・m

アンテナの方向調整を行なうため、
六角ボルト(大)は手で軽く締めて
ください。



壁面に取り付ける場合

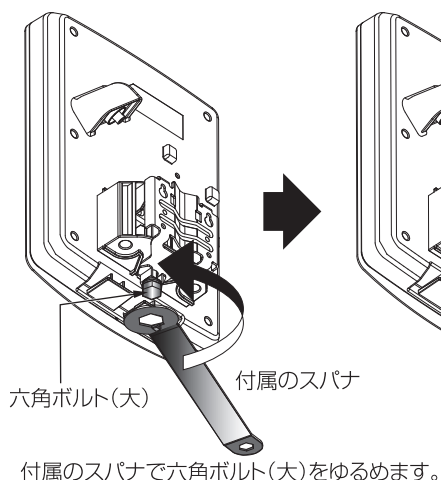
下記説明は水平偏波で受信する場合の内容ですが、垂直偏波の場合も金具は同じ向きに取り付けます。



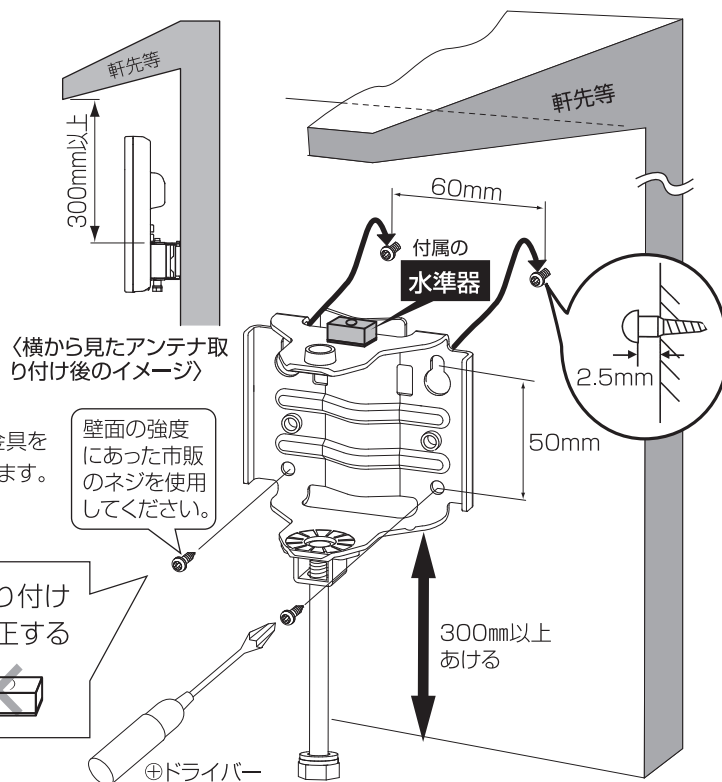
注意

- ・壁面に取り付けると壁面に穴が開きます。事前に4～5ページの『映るか試してみよう』で映ることを確認してから工事を行なってください。
- ・取り付けが可能なスペースとして、壁面取付金具の上下に300mm以上の空間がある場所に取り付けてください。

1 壁面取付金具を取りはずします。



2 壁面取付金具を取り付けます。

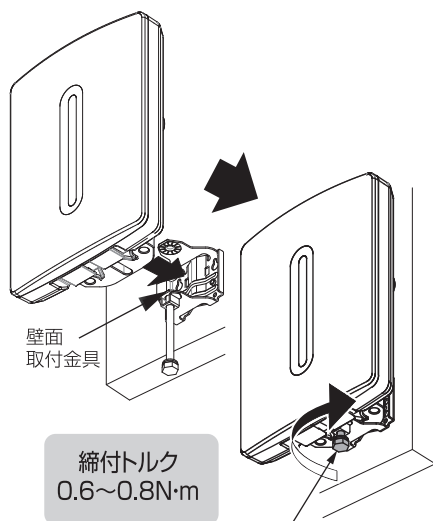


注意

金具は付属の水準器を使用して、**水平**に取り付けてください。取付後にアンテナの傾きを修正することはできませんのでご注意ください。

※金具を取付後は水準器ははずしてください。

3 アンテナ本体を取り付けます。



アンテナの方向調整を行なうため、六角ボルト(大)は手で軽く締めてください。

垂直偏波を受信する場合

垂直偏波を受信する場合、アンテナ本体のベースを付け換えます。

ベースの付け換え方

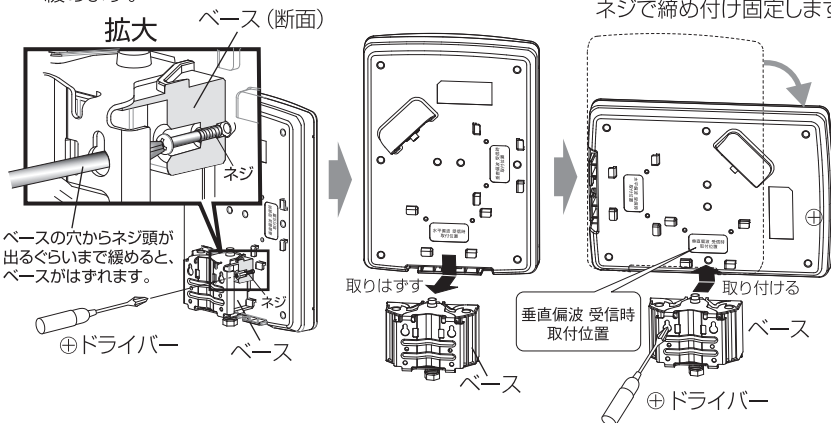
①ドライバーが必要です。



注意

インパクトドライバー使用禁止！

- ①ベースのネジ(2か所)を緩めます。
- ②ベースを取りはずします。
- ③本体を90度回転させてベースを取り付け、緩めたネジで締め付け固定します。



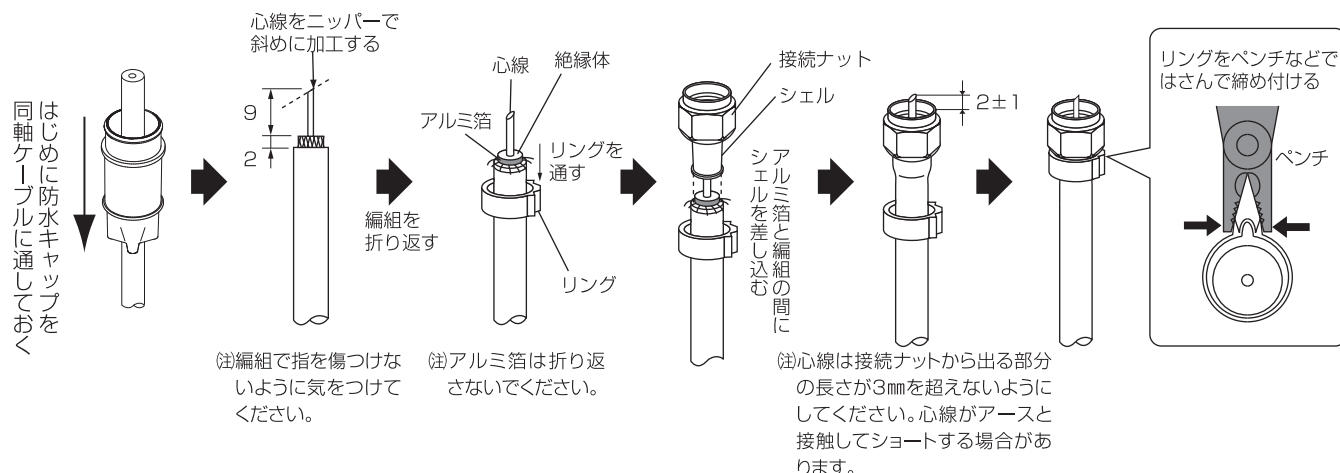
step

2

ケーブルを接続する

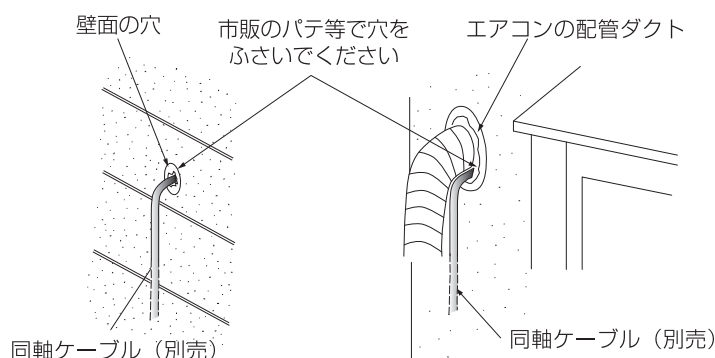
1 同軸ケーブルに、F形接栓(付属)を取り付けます。

〈例:5C相当同軸ケーブル使用〉(単位:mm)

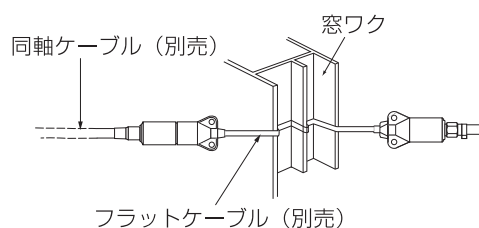


2 屋内へのケーブル引込方法

アンテナとテレビをつなぐ同軸ケーブル(別売)を屋内に引き込む例です。

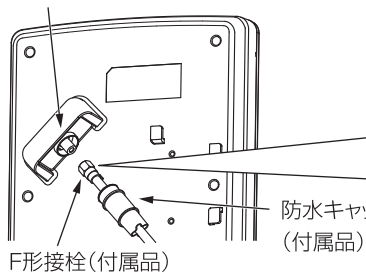


窓ワクのわずかなすき間を利用して配線する方法です。



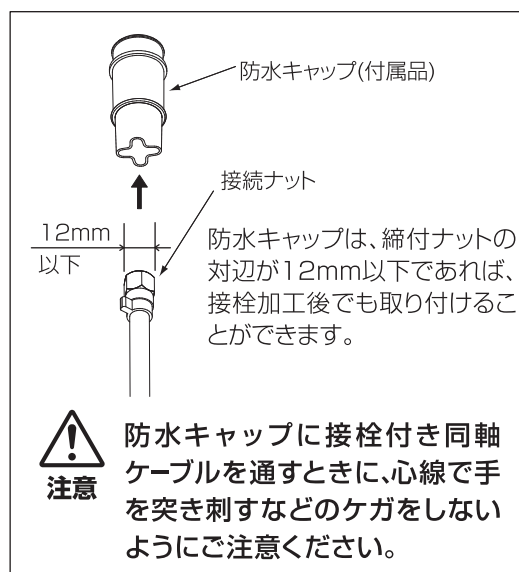
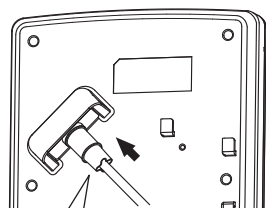
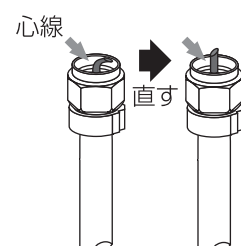
3 アンテナにケーブルを接続します。

出力端子



接栓締めトルク 2N・m

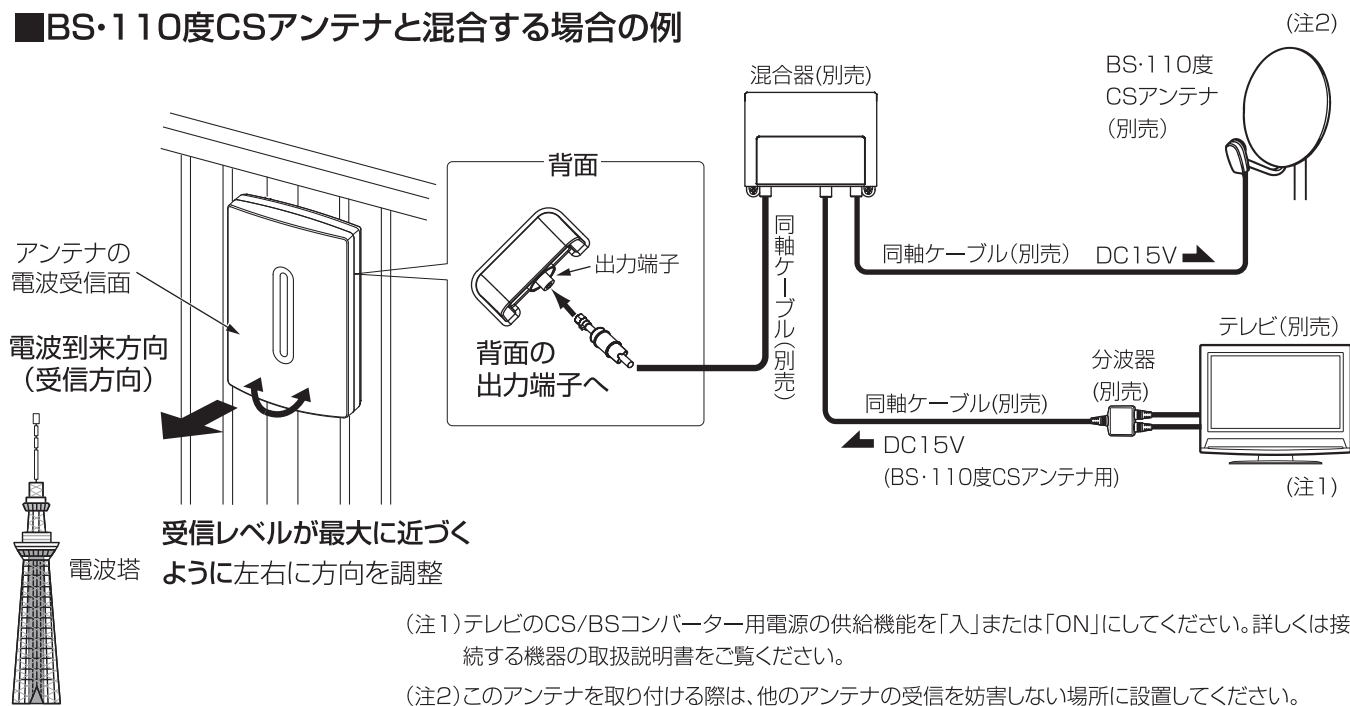
心線が曲がっている場合はまっすぐに直してください。



ケーブル接続後は、ケーブルが風でゆれたりしないように必ず固定してください。

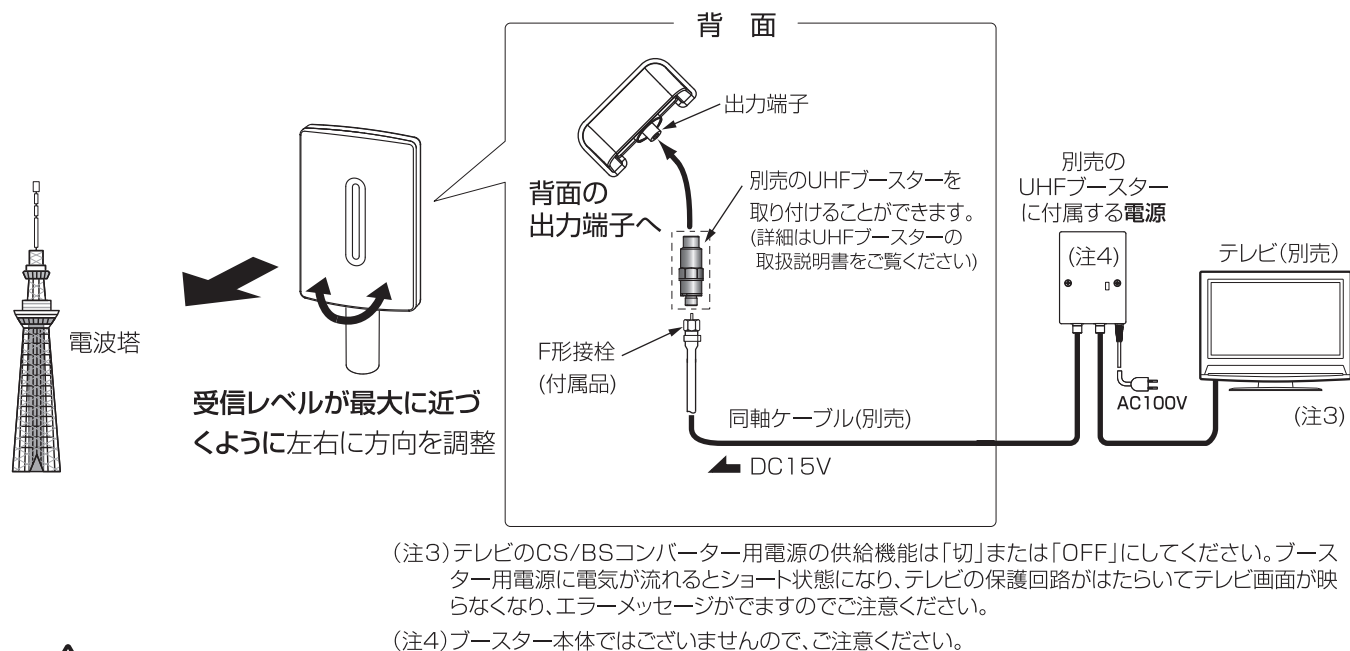
使用例

■BS・110度CSアンテナと混合する場合の例



■ブースターを使用する場合の例(電波を強くしたいとき)

ケーブルを長くひき回したり、複数のテレビやブルーレイレコーダーなどを増設する場合に、足りなくなった電波を増幅する(補う)ための接続例です。



注意 受信品質の低下はブースターでは改善しません。

以前から地上デジタル放送が映っていなかったり、電波障害により受信品質 (CN比) が低下している場合には、ブースターを使用しても映るようにはなりません。

step
3

アンテナの方向を調整する

方向調整には付属の
スパナが必要です。

1 アンテナを電波塔の方向に向けます

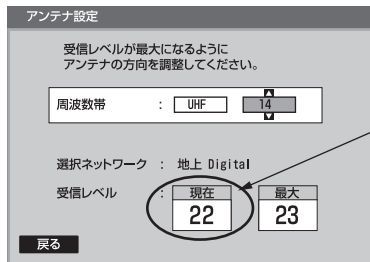
5ページの③～⑤で受信できた方向に向けてください。

2 テレビの設定

地上デジタルチューナーまたはテレビのアンテナレベルの設定画面を表示させてください。詳しくは地上デジタルチューナーまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

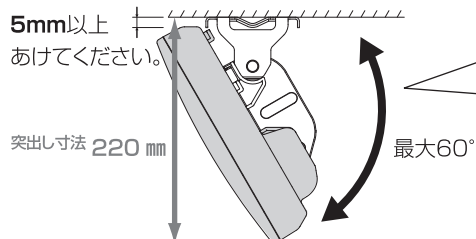
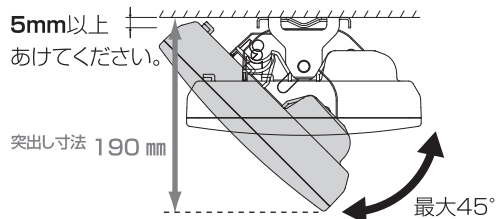
3 アンテナレベルの設定画面を見ながら、レベルが最大に近づくように左右に回転させてアンテナの向きを調整してください。

テレビの「アンテナレベルの設定」の一例

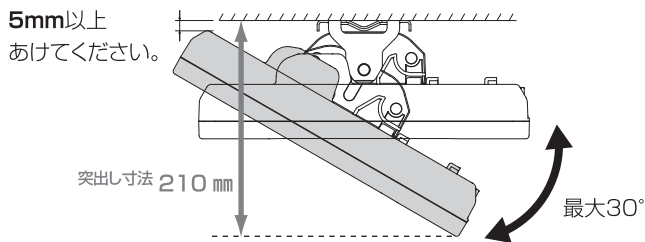
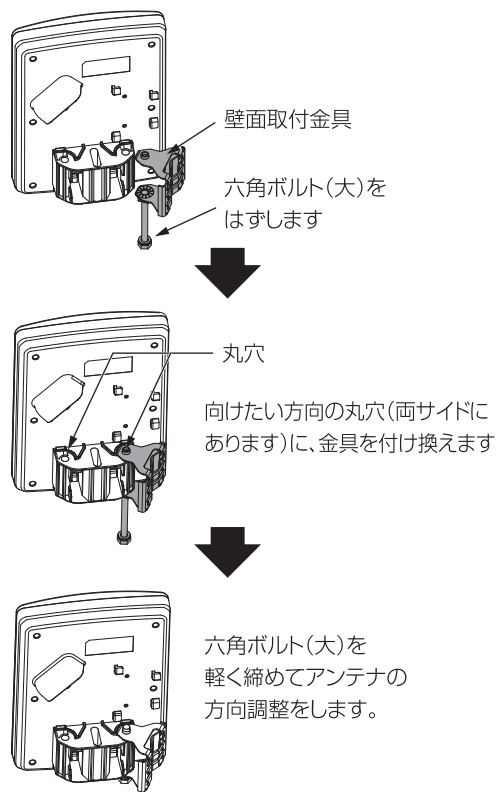
最大に近づく
ように
アンテナの向きを
調整してください。

4 アンテナの可動範囲(左右対称に回転します)

水平偏波の可動範囲(上から見たとき)

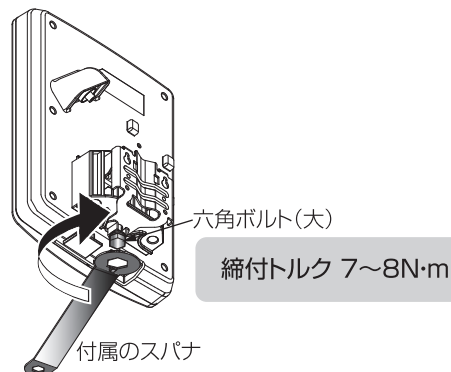


垂直偏波の可動範囲(上から見たとき)

45～60°まで傾けたい場合は
壁面取付金具を付け換えてください。

5 アンテナの固定

位置が決まったら、六角ボルト(大)をしっかり締め付けて終了です。



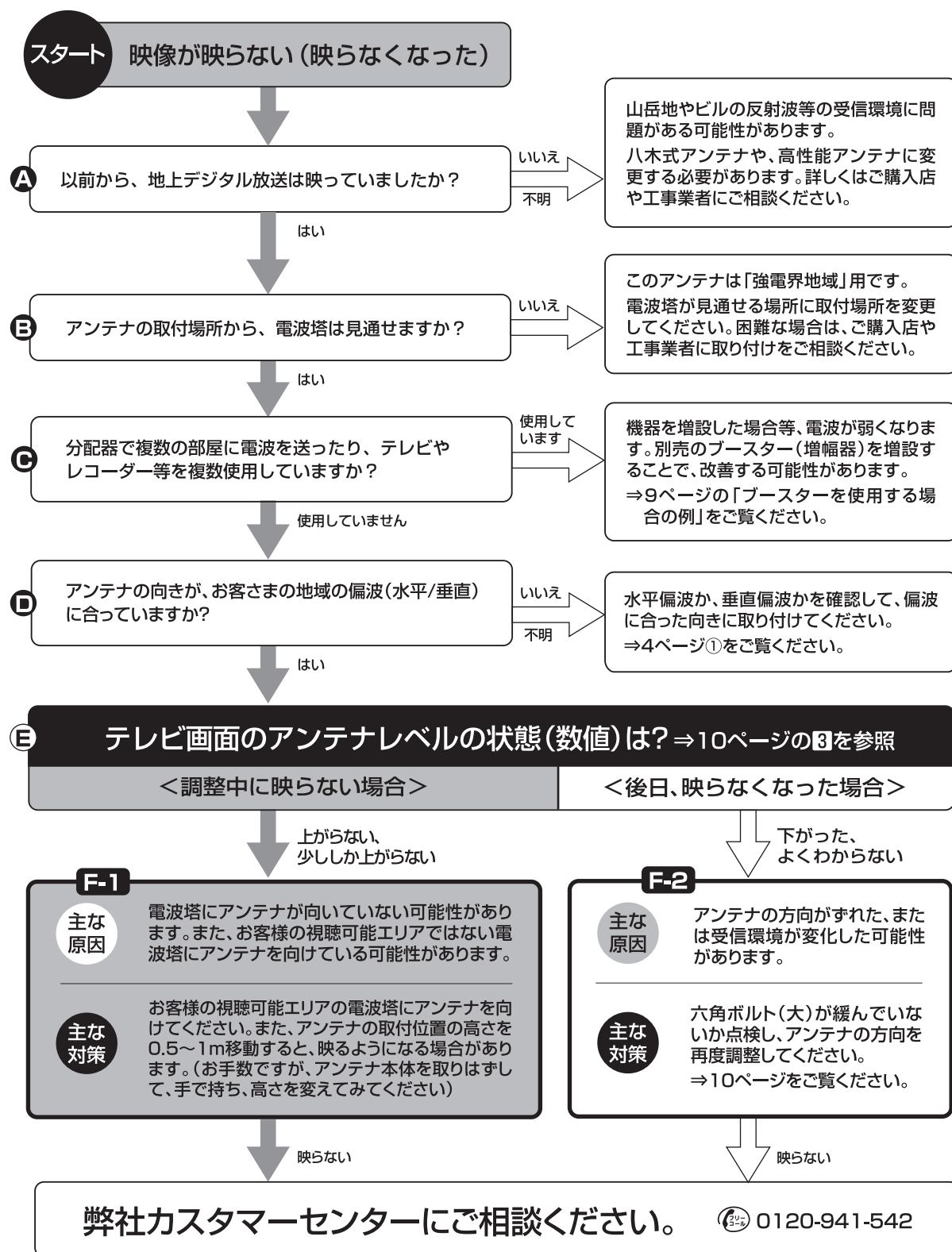
うまく映らないときは

アンテナの方向調整中に映らない場合や、後日、映りが悪くなったり、映らなくなった場合は下記点検をお願いします。

はじめにチェックしてください

- ケーブルの接続は正しいですか？
- テレビにB-CASカードが正しく入っていますか？
- テレビの設定は地上デジタル放送になっていますか？
- テレビの「チャンネル設定(チャンネルスキャン)」を再度行いましたか？

診断フローチャート



■規格特性

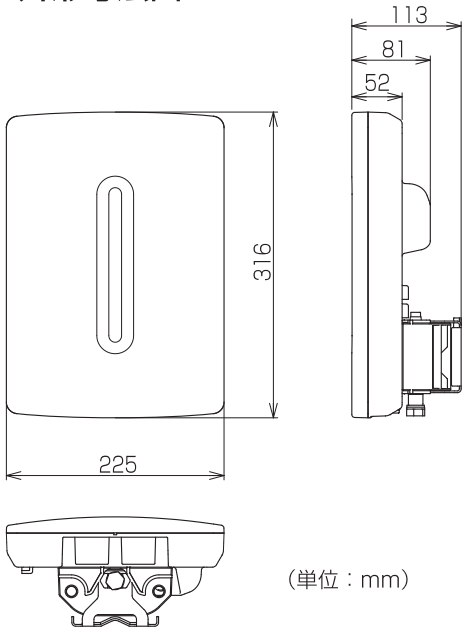
品 名	平面アンテナ
品 番	UAH500 / UAH500S
受信周波数 (MHz)	470～710(ch.13～52)
偏 波 面	水平または垂直
インピーダンス (Ω)	75(F形)
利 得 (dB)	4.5～7.1
V S W R	2.5以下
前 後 比 (dB)	10～15
半 値 幅 (°)	74～85
耐 風 速 (m/s)	45(注1)
適合マスト径 (mm)	マスト:φ22～49 角柱:30×30～45×45 ステンレスバンド(市販品)使用時:φ49以上
方位角調整範囲 (°)	±60(水平偏波時) ±30(垂直偏波時) :壁面取付時
寸 法 (mm)	316(H)×225(W)×113(D) (壁面取付時)
質 量 (kg)	1.3(取付金具含む)

(注1)耐風速は破壊風速(アンテナに風圧を加えている間アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速)です。

仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールに従って処理してください。

■外形寸法図



(単位: mm)



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

保 証 書

品 番	
☐ UAH500 ☐ UAH500S	
販売店	ご注文・ご店名 電話() -
お客様	お名前 ふりがな 様
	ご住所 〒 〇〇〇-〇〇〇〇 電話() -
お 買 上 年 月 日	
年 月 日	保証期間 お買上日から 1 年 間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

- 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本保証書を提示・添付されていない場合。
 - 本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
- 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター (02-0120-941-542) 携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079
お昼時間でも土日祝日もご利用ください! (受付時間 9:30～17:00 夏季・年末年始休暇は除く)
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>
DXアンテナ株式会社 本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 (1404)